



防衛大臣賞



自衛隊施設
分野

創設時の趣を残しつつメンテナンス効率性UP

海上自衛隊 第1術科学校『大講堂』平成の大改修

取組概要

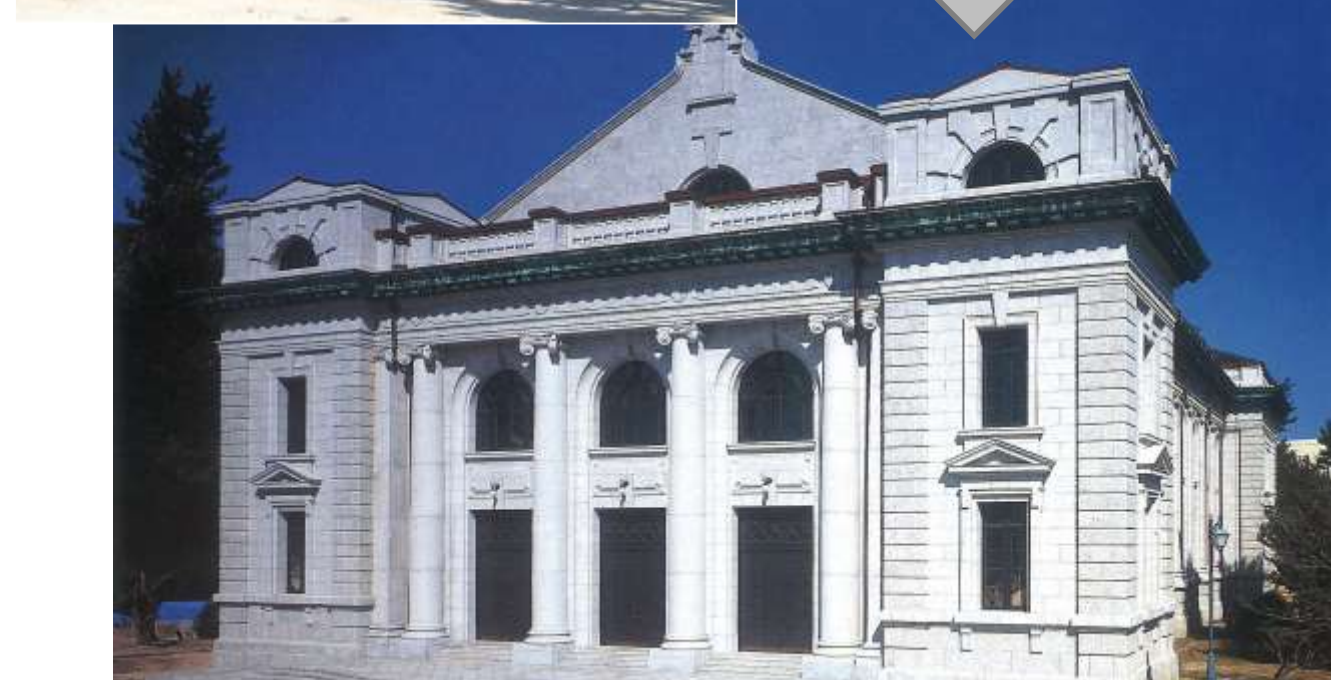
大正6年（1917年）の建造から約80年が経過し老朽化の著しい大講堂を、「外観・内観共に創建時の趣を残すよう努める」、「少しでも永く建物が保存・活用できるようメンテナンスの効率性を高める」ことを改修方針として実施した『平成の大改修』の取組。

受賞理由

大正6年に建造された大講堂を外観・内観ともに創建時の趣を残しつつ、外壁石仕上げの保全対策、屋根の二重防水工法等の工夫により構造物の耐久性及びメンテナンス効率性の向上を実現した結果、築100年経過した現在でも海上自衛隊を象徴する施設として、重要な式典に活用している歴史的建造物であることが評価された。

取組のポイント

本取組の考え方や技術ノウハウは、記念誌や工事関係者を通して引き継ぎつつ、改修工事中的見学会やその後の一般見学を通して歴史的建物のメンテナンスについて理念の普及啓発に寄与している。



西玄関大扉取り替えの施工



大屋根スレート葺直し施工

受賞者について



受賞者

清水建設株式会社
小川 直宏 / 小澤 貴史 / 大本 順子 / 中村 義則
株式会社村田相互設計 赤尾 敦司 / 大谷 健創
防衛省 中国四国防衛局

コメント

記念すべき第一回において防衛大臣賞を戴けたことは無類の喜びであります。今回の受賞は私どものみならず、携わった多くの関係者に対するものと心得ております。この喜びと共に引続き技術の伝承に努めてまいります。

団体概要

清水建設（株）は、主に改修工事を担当。（株）村田相互設計は、主に建築設計を担当。中国四国防衛局は、全体の監督を実施。関係者が一丸となって『大講堂』平成の大改修に取り組み、その内容を記念誌に残しました。

問い合わせ先

清水建設株式会社 広島支店
建築部長 小川 直宏
082-225-4655 / nao.ogawa@shimz.co.jp
建築技術部
技術G長 小澤 貴史
082-225-4662 / t.ozawa@shimz.co.jp